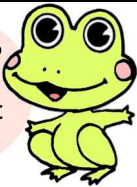


できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信 Vol.82

発行日：令和6年(2024年)7月19日 編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議
会員数：270人(令和6年6月30日現在) (事務局)Tel(56)4061 Fax(56)3999

第1回自然観察会を開催しました！

文：事務局



令和6年5月11日(土)、毎年恒例のバードウォッチングを開催しました。城陽環境パートナーシップ会議では、5月10日～16日の愛鳥週間に合わせて、鳥類の観察をおこなっています。愛鳥週間は、バードウィークとも呼ばれ、日本国民の愛鳥保護思想を高めるために、1950年(昭和25年)に定められました。元々は、鳥類学者オリバー・L・オースティン博士の提唱によって、アメリカでは4月10日が「愛鳥の日」として制定されていました。しかし、この日は日本の北部ではまだ積雪が残り、冬鳥の多い時期であるため、野鳥がより活発に動き、人々も活動しやすい5月10日から1週間を愛鳥週間としました。



そんなバードウィーク2日目、真夏日に近い恵まれた天候の中、木津川河川敷にて観察会を開催しました。環境生物研究会の岡井勇樹氏をメイン講師として、竹野功璽氏、田中義則氏、千田真大氏による野鳥の解説がおこなわれました。

木津川河川敷グラウンド駐車場に集合し、講師の紹介の後、竹林沿いの小道を南に進み、河原の方へと向かいました。向かう途中では、ヒヨドリ・ムクドリ・ツバメ・ウグイス・メジロ等が確認されました。河原では、カルガモ・ダイサギ・トビ・コチドリ等を観察しました。河原にいたダイサギは、2種の亜種が確認され、岡井氏からは、目元の色の違いによる識別法を教えてくださいました。

ダイサギ(城陽市の鳥・白鷺)

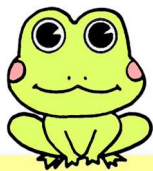


河原での観察後は、堤防に上がり川や田畑を高い所から観察しながら北進しました。そして、ゴール地点となるグラウンドの北端付近の堤防で、参加者で記念撮影をおこないました。記念撮影後には、堤防から見える田畑の合間にキジを確認することができ、「写真のような綺麗さだ」と参加者全員で野鳥の美しさに見惚れていました。

今回、確認できた野鳥は計28種でした。何か環境の変化が起こったからか例年よりは少ない確認数でしたが、自然の美しさを感じることができました。

キジ(日本の国鳥)





令和6年度(2024年度)総会を開催しました！

6月29日(土)13時より、城陽市立福祉センターにて令和6年度(2024年度)総会を開催しました。出席者は事務局含め26名となりました。まずは会長より、「私たちのまち城陽は、京都と奈良の中間に位置し、豊かな水や自然の恵みを受け、人々が住みつき、様々な歴史と文化を形づくってきました。そのかけがえのない良好な環境を守り育てていくため、引き続き『身近にできること』に焦点を当て、市民の皆さまに環境問題に関心を持っていただけるような事業、環境への意識をより高めていただけるようなイベントの開催に城陽市と共に取り組んでまいりたいと思います。」と挨拶がありました。

次に、令和5年度(2023年度)事業報告

及び収支決算、令和6年度(2024年度)事業計画(案)及び収支予算(案)が上程され、審議の結果、満場一致で承認されました。

これを以て、総会を終了しました。その後、出席者全員で記念撮影をしました。

また、開催前には、運営委員で会場周辺のクリーン活動を実施し、45ℓ ゴミ袋1袋分のごみを回収しました。



◇令和5年度(2023年度)収支決算

令和5年(2023年)4月1日～令和6年(2024年)3月31日

1. 総括表

単位：円

項 目	決 算 額	備 考
総 収 入	956,787	
総 支 出	576,185	
収 支 差 額	380,602	令和6年度(2024年度)へ繰越

2. 収 入

単位：円

項 目	予算額①	決算額②	差額②-①	備 考
(1)会 費	280,000	280,000	0	賛助会費 14会員×@20,000
(2)募金・寄付	4,800	11,417	6,617	パートナーシップ募金6,417円、寄付5,000円
(3)参加費収入	0	0	0	
(4)補助金	300,000	300,000	0	「城陽市活動支援補助金」300,000円
(5)雑収入	5	23,247	23,242	普通預金利息4円/城陽産菜種油+環境フォーラム喫茶売上代23,243円
(6)前年度繰越金	342,123	342,123	0	
合 計	926,928	956,787	29,859	

3. 支 出

単位：円

項 目	予算額①	決算額②	差額②-①	備考
(1)事業費	747,610	446,074	△ 301,536	ゴーヤ苗の育成に関する消耗品、花いっぱい運動に関する用具代・苗・菜種代、畑の肥料代、温室内消耗品・備品・修繕費用、デイリーエコチョイスJOYO作製費、生き物ガイドブック作製費、グリーンカーテンフォトコンテスト写真用紙・賞品代、カーボンニュートラル絵画展賞品・展示消耗品代、自然学習会キット(フレーム・ノリ他)代、イベント展示資料・啓発用配布チラシ作製印刷プリンターインク代、など
(2)広報費	80,400	54,458	△ 25,942	会報の市内特別郵送代(年4回)
(3)調査研究費	3,000	0	△ 3,000	支出なし
(4)事務費	84,000	75,653	△ 8,347	賛助会費・印刷代等の振込手数料、切手代、クラフト封筒(長4)代、事務消耗品費など
(5)予備費	11,918	0	△ 11,918	支出なし
合 計	926,928	576,185	△ 350,743	

◇令和6年度(2024年度)事業計画

●パートナーシップ

- ・総会の開催
- ・城陽市環境フォーラム及び環境ミニフォーラムの開催
- ・第2次環境基本計画の取り組み
- ・会報（エコパートナー通信）の発行／年4回



●地球環境

- ・「デイリーエコチョイス JOY0」の活用
- ・カーボンニュートラル絵画展の開催(市と協働)
- ・省エネ知恵 BOOK 改訂版の作製

●生活

- ・身近な河川の清掃活動の実施
- ・グリーンカーテンの普及・啓発
- ・花いっぱい運動の実施



●循環

- ・3R活動の推進
- ・「Joyo Eco Choice!」の活用
- ・環境学習会の開催
- ・マイボトル推進
- ・城陽市フードドライブ事業協力
- ・環境美化の推進



●自然

- ・身近な河川と里山で見られる動植物の観察会の開催（年3回）
- ・城陽生き物ガイドブック(外来生物編)の作製
- ・竹林の整備(竹炭づくり)
- ・どんぐりやまプロジェクトの実施(市との協働)
- ・はたけひろばの開催(月2回程度)
- ・エコバスツアーの開催

○運営委員会の開催 毎月第1木曜日 ○部会の開催 毎月第3木曜日

◇令和6年度(2024年度)収支予算

令和6年(2024年)4月1日～令和7年(2025年)3月31日

【収入の部】

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	対前年度比較	摘 要
(1)会 費	280,000	280,000	0	賛助会費 @20,000×14会員=280,000円
(2)募金・寄付	4,800	4,800	0	@400円×12か月=4,800円
(3)参加費収入	5,000	0	5,000	エコバスツアー大人10名@500
(4)補助金	300,000	300,000	0	城陽市(300,000円)
(5)雑収入	5	5	0	普通預金利息
(6)前年度繰越額	380,602	342,123	38,479	
収入合計(A)	970,407	926,928	43,479	

【支出の部】

単位：円

項 目	予 算 額	前年度予算額	対前年度比較	摘 要
(1)事業費	797,562	747,610	49,952	総会開催案内郵送料、自然観察会講師謝礼、花いっぱい運動活動費、ゴーヤ種代、生き物ガイドブック作製費、カーボンニュートラル絵画展・グリーンカーテンフォトコンテスト賞品代、省エネ知恵BOOK改訂版作製費、環境学習会での使用教材費、消耗品費等
(2)広報費	87,944	80,400	7,544	会員通信郵送料 ※10月・1月号は郵送料値上げ(84円⇒110円)を踏まえて計上
(3)調査研究費	3,000	3,000	0	参考資料、書籍等購入代
(4)事務費	71,000	84,000	△ 13,000	切手代、会費振込手数料、その他振込手数料、慶弔費、事務消耗品、封筒代等
(5)予備費	10,901	11,918	△ 1,017	
支出合計(B)	970,407	926,928	43,479	
収支差額(A)-(B)	0	0	0	

※1 郵送料の支出項目を整理した為、事業費・広報費・事務費に増減あり。

※2 各事業ごとに計上していたプリンターインク代や印刷用紙代を、今年度より事務費にまとめて計上。

環境ミニフォーラムを開催しました！ 文：大野 和宣会長

6月29日(土)福祉センター1階ホールにて、環境ミニフォーラムを開催しました。今回のミニフォーラムでは、各部会の活動報告をおこないました。

はじめに、生活・自然部会から、「外来生物・クビアカツヤカミキリの脅威について」を中川宗孝委員より発表しました。バラ科の植物を好み、桜並木などに多くの被害をもたらす、「クビアカツヤカミキリ」という外来生物について、独自でおこなった調査結果や、現状について発表しました。中川委員によると、調査をおこなった近隣の梅林や桜の名所では、いまのところ幼虫や成虫の姿は確認できず、被害地からの侵入も考えにくい状況で、ひとまずは安心しているが、今後も周知を図りながら目を光らせていくとのことでした。また、生態系などに被害をもたらすその他の外来生物についても、紹介しました。昔から城陽の自然に親しんでいる中川委員ならではのエピソードを交えながらの大変興味深い発表となりました。

次に、循環・地球環境部会から「SDGsの基礎知識」について、浅田和利委員より発表をしました。

「SDGs」とは、Sustainable(持続可能な)、Development(発展、開発)、Goals(目標)を表しています。2015年9月に国連総会で採択された人類と地球の未来のために世界の国々が共に取り組む課題、目標です。発表では、SDGsが17の目標と169のターゲットから構成されていることや、それぞれの目標を対象ごとに5つに分類したとらえ方(5つのP)について、それぞれの目標の大まかな概要、日本の置かれている状況などを解説し、私たちが身近に取り組むことができる方法について紹介しました。最後に、「**城陽市では城陽環境パートナーシップ会議が、目標 17『パートナーシップ』の先駆者として活動しています。明るい希望の未来へ SDGs 達成のため皆さまのご協力をお願いします。**」と締めくくりました。

会員の皆さまへ！

エコパートナー通信(本通信)を電子版にしませんか？

城陽環境パートナーシップ会議が、年4回お届けしているこの「**城陽エコパートナー通信**」ですが、**ペーパレス化によるCO₂削減**の観点から、電子送付へのご協力をお願いしております！

●会員通信の電子送付の申し込み方法について

右の二次元コードを読み取り、専用フォームから必要事項を入力し、送信ボタンを押してください。



※ご入力いただいた情報は本人確認

および会員通信送付のためにのみ使用します。

現在、会員数**270名**のうち、**54名**が電子送付にご賛同いただいています！



電子送付にご協力の方には、毎号**エコ・アクション・ポイント**を進呈します！

エコ・アクション・ポイントとは？



環境省が推進する全国共通のポイントプログラムです。対象のエコアクション(環境にやさしい行動、サービスの利用等)を行うとアプリ上でポイントが付与され、貯めたポイントは各種ギフトカードや商品と交換することができます。

城陽市では、令和5年8月からエコ・アクション・ポイント事業を開始しています。



市ホームページ



アプリのダウンロードは以下から
シロクマのマークのアプリです！



iPhone など



Android

アプリをお持ちでない場合公式サイトからも会員登録ができます。
ホームページ▶ <https://www.eco-action.jp>

※アプリや登録方法に関するお問い合わせは、エコ・アクション・ポイント事務局まで
(☎0120-889-614 10:00-17:00/土・日・祝・年末年始休)

株式会社城南工建

〒610-0113 京都府城陽市中芦原27番地の1
TEL 0774-53-3939 FAX 0774-55-1172

株式会社東城陽ゴルフ倶楽部

京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

株式会社ミズホ

マサツのない世の中へ。
砥石で、未来を磨いてゆく。

京都城陽ロータリークラブ、近畿砂利協同組合、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、城陽金融会、
城陽市、城陽商工会議所、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、
(株)平和堂アル・プラザ城陽、森澤博光 ※令和6年6月30日現在(五十音順・敬称略)

上記の団体・個人の方から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

事務局(城陽市役所本庁舎2F 環境課内)

(4)